

活動報告

平成29年度 厚生連薬剤師会学術活動報告

三条総合病院、薬剤部；薬剤師

外山 芳豊

新潟県厚生連薬剤師会は平成29年10月末現在132名が在籍しております。

当薬剤師会は、春・秋季研修会の定期開催をしています。また各種学会・研修会等に積極的に参加し、日々研鑽を積み重ねています。またチーム医療の一員として専門薬剤師、認定薬剤師の必要性が年々増してきている中、取得者も増加しています。

平成29年度の発表、研修会等の学術活動は以下のとおりです。

(1) 日本農村医学会新潟地方会第67回例会

時 平成29年4月15日（土）

所 長岡中央総合病院

演題名：①「残置薬の患者連絡方法変更に伴う残置薬処理率の評価」

佐渡総合病院 石塚 理恵

②「クエチアピン、メサドン投与中に低血糖を発症したがん患者の1症例」

長岡中央総合病院 市川友莉恵（新潟医療センター）

③「柏崎地区の薬局薬剤師と新潟県厚生連の病院薬剤師を

対象とした医療用麻薬に関するアンケート調査」

柏崎総合医療センター 飛田 怜

④「当院糖尿病症例におけるGLP-1受容体作動薬（リラグルチド）と

インスリンデグルテグ併用療法の有効性の検討」

長岡中央総合病院 安達麻祐子

⑤「熊本での新潟県医療救護班の活動報告」

村上総合病院 大塚 聖崇

(2) 第53回厚生連薬剤師会総会・分科会並びに特別講演

時 平成29年5月27日（土）

所 バストラル長岡

分科会（シンポジウム）

テーマ：感染対策について

①「当院における抗菌薬 TDM 運用とアンチバイオグラムについて」

佐渡総合病院 長谷川高広

②「豊栄病院における Antimicrobial Stewardship の実践」

豊栄病院 丸山 弘朗

③「抗菌薬適正使用の取り組み～アンチバイオグラムと TDM の活用について～」

あがの市民病院 細川 浩輝

特別講演Ⅰ

「大腸癌の集学的治療について」

新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科 部長 野上 仁 先生

特別講演Ⅱ

「乳癌の治療について」

新潟県立がんセンター新潟病院 乳腺外科 部長 金子 耕司 先生

(3) 第11回日本緩和医療薬学会年会

時 平成29年6月2日（金）～4日（日）

所 札幌コンベンションセンター

演題名：①「医療用麻薬に対する薬局薬剤師と病院薬剤師の認識調査」

柏崎総合医療センター 金子 睦志

②「フェンタニルによると思われるアカシジアの1例」

佐渡総合病院 引野真由美

- (4) 薬剤師のための感染制御セミナー
時 平成29年6月10日(土)
所 新潟テルサ
演題名:「バンコマイシン TDM について」
あがの市民病院 細川 浩輝
- (5) 第15回中越緩和ケア懇談会
時 平成29年7月22日(土)
所 長岡赤十字病院 講堂
演題名:「症例報告～痛みがとれて歩いてかえりたいという希望がかなった一例～」
長岡中央総合病院 樋口 貴子
- (6) 平成29年度 前期新任薬剤師教育研修会
時 平成29年7月22日(土)
所 長岡中央総合病院; 健診棟2階会議室
テーマ発表「自分が取り組んでいる業務または研究」について
研修 SMBG について
インスリンのデバイスについて
糖尿病～チーム医療の中での薬剤師の役割
講師 長岡中央総合病院 石塚ほから
- (7) 平成29年度 副薬剤長・主任会議
時 平成29年9月2日(土)
所 長岡中央総合病院; 3F ラウンジ
議題 ・平成30年度厚生連薬剤師会総会・分科会について
・業務内容および人員問題について
・他施設への質問・協議事項について
・厚生連薬剤師会への提言・質問事項について
- (8) 平成29年10月
環境感染誌 Vol32 no.5, 2017 掲載
「携帯式手指消毒導入と使用量フィードバックの併用効果」
あがの市民病院 細川 浩輝
- (9) 新潟県病院薬剤師会学術講演
時 平成29年10月13日(金)
所 長岡グランドホテル
演題名:「院内抗菌薬適正使用における薬剤師の介入 ～血液培養陽性例に対して～」
豊栄病院 薬剤部 丸山 弘朗
- (10) 第56回全国自治体病院学会
時 平成29年10月19日(木)
所 幕張メッセ
演題名:「手指消毒薬使用量増加のための取り組み」
携帯式手指消毒薬導入と使用量フィードバックの併用効果」
あがの市民病院 細川 浩輝
- (11) 第27回日本医療薬学会年会
時 平成29年11月4日(土)
所 幕張メッセ
演題名:①「小児患者への薬剤剤型変更に伴う調剤時間・服用性の評価」
佐渡総合病院 藪間 尚樹
②「当院におけるポリファーマシーの現状調査と今後の取り組み」
上越総合病院 村上 幸恵

(12) 平成29年度厚生連薬剤師会秋季研修会

時 平成29年11月11日（土）

所 新潟東映ホテル

演題名：①「薬剤部が取り組んだ効率化と院内アピール～コスト削減と増収対策～」

- けいなん総合病院 齋藤 葉子
- ②「痛みがとれて歩いて帰りたいという希望がなかった1例」
長岡中央総合病院 樋口 貴子
- ③「クエチアピン、メサドン投与中に低血糖が発症した癌患者の1症例」
新潟医療センター 本間章太郎
- ④「抗菌薬処方時の活性生菌剤処方内訳と疑義照会後の処方内訳について」
佐渡総合病院 坂井 達洋
- ⑤「計数調剤支援システム F-WAVE の機能および当院の運用の紹介」
三条総合病院 片岡 裕幸
- ⑥「S1・カベシタピンの投与量、投与スケジュール評価とその有用性」
佐渡総合病院 山賀 洋和
- ⑦「副薬剤長・主任会議報告」
上越総合病院 奥井美加子

特別講演Ⅰ

「私の考える糖尿病治療 ～治療方針と薬剤選択について～」

燕労災病院 内分泌・代謝内科 北澤 勝 先生

特別講演Ⅱ

「小児IBD診療の最前線より ～子どもたちの未来を開く～」

国立成育医療研究センター 消化器内科 医長 新井 勝大 先生

(13) 平成29年度後期新任薬剤師教育研修会

時 平成29年11月25日（土）

所 コープシティ花園

テーマ発表 「自分が取り組んでいる業務または研究」について
(研修2年目の薬剤師11名による発表)

- 研 修
- 1. 「WHO 方式がん疼痛治療法」
塩野義製薬株式会社
 - 2. 「麻薬という言葉と薬剤師の役割～患者・医療スタッフと向き合う為に～」
講師 柏崎総合医療センター 金子 睦志

(2017/11/21受付)